

令和4年度第2回さぬき市男女共同参画推進協議会 会議要旨

- 1 日 時 令和4年6月22日(水) 14:00～16:40
- 2 場 所 さぬき市役所3階会議室
- 3 出席者 【委員】石田委員、尾崎委員、柿木委員、樫原委員、金子委員、川地委員、黒澤委員、高田委員、多田委員、筒井委員、六車委員
- 【事務局】山下市民部長 山田課長 田村係長 山本主任主事
- 【委託事業者】株式会社ぎょうせい
- 4 傍聴者 なし
- 5 会議次第 1 開会
2 会長あいさつ
3 議事
 (1) 第3次さぬき市男女共同参画プラン意識調査について
 (2) その他
4 閉会
- 6 配布資料 資料1 さぬき市 男女共同参画に関する市民アンケート調査
資料2 さぬき市 男女共同参画に関する中学生アンケート調査
資料3 さぬき市 男女共同参画に関する事業所アンケート調査
資料4 さぬき市 男女共同参画に関する教職員アンケート調査
資料5 さぬき市 男女共同参画に関する市職員アンケート調査
資料6 第3次さぬき市男女共同参画プラン意識調査 実施要領 ほか

7 議事の経過及び発言要旨

発言者	意見概要
	＜ 開 会 ＞ (14:00)
事務局	ただ今から令和4年度第2回さぬき市男女共同参画推進協議会を開会します。はじめに、さぬき市男女共同参画推進協議会 黒澤会長からごあいさついただきます。
会長	＜会長あいさつ＞
事務局	ありがとうございました。会議の進行は、さぬき市男女共同参画推進協議会規則に基づき、黒澤会長にお願いします。
会長	まず、会議の公開についてです。本会議は、「附属機関等の委員の構成及び会議の公開に関する指針」に基づき、「原則公開」となっています。非公開の案件がない限り、公開とすることとします。まず、傍聴申請について、人権推進課長から報告して

	<p>ください。</p>
事務局	<p>現在のところ、傍聴希望はありません。</p>
会長	<p>今のところ傍聴の希望はありませんが、会議途中で傍聴希望があった場合には、随時許可することとします。</p> <p>はじめに、本日の会議についてですが、おおむね2時間程度を予定しております。協議事項が多いため、延長する場合がありますが、御了承ください。新型コロナウイルス感染症の影響も鑑み、なるべく時間どおり進めてまいりたいと思います。御協力よろしくお願いします。</p> <p>では、議事(1)「第3次さぬき市男女共同参画プラン意識調査について」、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>先日、送付しました資料1～5をご覧ください。</p> <p>お手元の資料のとおり、意識調査に関する調査票について、委託事業者から提案がありました。これは、昨年度、男女共同参画推進協議会委員からいただいた意見等を踏まえ、作成したものです。本日は、5種類の調査票について、はじめに作成担当者から説明申し上げ、その後市民、中学生などアンケートの種類ごとに御意見をいただきたいと思っております。</p>
ぎょうせい	<p><資料1～5説明></p>
会長	<p>では、まず、市民アンケートについて、御意見・御質問はありませんか。</p>
委員	<p>問1の性別の設問について、「その他」という表現が、人格を軽くみていることにはならないだろうか、「答えたくない」の方が答えやすいのではないか。</p>
ぎょうせい	<p>男女共同参画以外にも様々な自治体でアンケートを実施していますが、性別については議論になります。各自治体において判断いただく形となります。</p> <p>(参考資料として質問例(11例)を配布)</p>
ぎょうせい	<p>例の中には、「答えたくない」のほかに「その他」がある例もあります。また、「その他」という表現は人格否定につながるのではという意見があり「()」に自由記載とする例や、「男性・女性では答えられない」という選択肢を準備している例もあります。現在提示しているアンケート調査の質問は、昨年度さぬき市総合計画のアンケートで使った表現に合わせていますが、必ずしも合わせる必要はないと思いますので、皆さんの考えをお聞かせください。</p>
委員	<p>『その他』に自分を当てはめるのは嫌だ、「できれば性別を公表したくない」、「アンケートで性別に縛られるのは嫌だ」と、様々な意見があると思う。「自分から望んで答えない」という表現はどうか。最近、アンケートに必ずしも性別が必要ではないと感じている。無理やりどちらかに当てはめる必要もないし、全体的な動向を見る点では性別は必要ないと思う。子どもたちにも、自分の意思で性別の表現を選んだということにつながるのではないか。</p>

委員	性別が分析に必要なければ書かなくてもよいと思うが、どうなのか。
ぎょうせい	本アンケートでは、性別は必須と考えています。男女共同参画プランを策定するにあたり、男女間の意識の差を見ることは必要だと思います。書き方については「自認する性別をお答えください」というような表現もあります。加えて「答えにくければ、答えなくてもけっこうです」という注意書きを入れてもよいと思います。
委員	「答えたくない」の選択肢を入れたい。
委員	中学生アンケートでは、選択肢について生徒から質問があった場合、先生が説明することになると思う。学校現場では、性の多様性についてどのように教育しているのか。
委員	小学校では「服装から意識を変えたい」ということで、今年から制服を男子用、女子用という表記ではなく、標準の服装から選ぶことになった。昨年の後半から多様性について話が出て、まず服装から始めた。この後、子どもたちに働きかけていく方向である。中学校については全て把握できているわけではないが、性の多様性について、授業や保健の中で触れていると思う。性別について子どもたちがどこまで認識しているかは個人によって異なるので、「男性・女性・その他」の選択肢で「その他」に丸を付けるのは難しいように感じる。中学校の段階でも、自認する性別についてはっきりしていない子も多いと思うので「答えたくない」という選択肢があると良いのでは。
委員	アンケートはどのような形で配布されるのか。
事務局	ホームルームで書くか、宿題とするか等、配布の方法は学校側に委ねますが、記入後は封筒に封入し返信いただく形です。
委員	今は答えたくない前提で話しているが、答えたい人はどうするのか。「()」であれば、答えたくないなどいろいろと書けると思う。
事務局	アンケート案を作成するとき、課内でも随分議論しました。自認する性別を回答いただけたらと思うのですが、自身の性別が定まっていない人やわからないと思っている人など、いろいろな人がいると思います。「答えたくない」、答えたくないわけではないが男性でも女性でもない「その他」といった4つの選択肢でよいかと思います。また、中学生について、中学3年間で、1度は性的マイノリティの授業か講演会があると思います。また、教育委員会とも相談した上で、4月から始まったパートナーシップ宣誓制度のポスター掲示を市内中学校に依頼しました。このことから、全てではないにしても、言葉などは理解しているのでは、と思っています。
委員	四択で問題がないと思う。
委員	「答えたくない」というのは、自分らしく生きられない社会につながるのでは、と懸念している。さぬき市はどう見ているか。
事務局	さぬき市としては、お互い認め合える社会を作っていきたい。性別にとらわれず、一人ひとりがいきいきと生きられる社会を作りたいと思っています。「答えたくない」という選択肢は、その人の思いを尊重する意味であえて作る必要があると思っています。

	す。
委員	自分のことがわからない、迷っているという中学生もたくさんいると思う。不安のある子どもたちがそんな気持ちを持ちながら答えないといけないなら、どういう選択肢あるのが一番よいかを考えてもらいたい。皆が書けるような形にしてもらいたい。
会長	アンケートが負担になってはいけません。それでは、「答えたくない」の選択肢を追加しましょう。
委員	「1男性 2女性」の男女の順番を変えてもよいと思っている。統計処理には差し支えないのでは。
ぎょうせい	差し支えありません。問1性別についての選択肢は全て5種すべて共通でよいでしょうか。
会長	それで進めましょう。ほかにありますか。
委員	問33の用語の意味を問うもの。前回は「男女共同参画社会」「男女雇用機会均等法」などがあったように思うが、今回削除した意図を知りたい。
ぎょうせい	用語の意味の設定で今回削除した項目は、「男女共同参画社会」「男女雇用機会均等法」「女性活躍推進法」です。「男女雇用機会均等法」「女性活躍推進法」は、市民よりも事業所に尋ねる項目だと考え、削除しました。「男女共同参画社会」について問うかどうか悩みましたが、ボリュームやほかとの兼ね合いで今回は削除しました。前回の結果は「内容まで知っている」25%、「見聞きしたことがある」50%で、約7割の人が名前を知っている、という感じでした。中学生については「男女共同参画社会」という言葉を知っておくべきではないかという意図から今回も問うています。市民アンケートにも「男女共同参画社会」を残しておくべきだという意見がまとまれば、反映します。
委員	問9は「同居家族」の介護状況について聞いているが、別居していても、週末ごとに介護をしに行く人もいる。同居にこだわる必要はあるか。
ぎょうせい	こだわる必要はありません。問5から派生した質問ですが、単身世帯でも、別居家族の介護をしている場合もあるので、条件を外してもよいと思います。「同居家族」ではなく「あなたの家族」としてもよいかもかもしれません。その場合、問5の条件も外した方がよいかもかもしれません。
会長	ではそのような形で進めましょう。
委員	問17の選択肢に「妊娠したいから」を加えてはどうか。今、妊娠したいから仕事を辞める人が4人に1人いる。選択肢を選ぶ人は少数かもしれないが、大きな社会問題の一つなので加えてほしい。「妊娠したいから」というのは「2妊娠したから」とも「14自分の病気のため」とも違うし「18その他」に紛れてよい問題なのかと思う。項目があるかないかで心象は違う。
ぎょうせい	選択肢の追加は可能です。前回そのような方は、もしかしたら「7 家事や子育て

	に専念したかったから」を選んでいたのであるかもしれません。
委員	NPO法人が不妊白書というものを作成している。女性の4人に1人が職場に伝えず「妊娠できない・治療に専念したい」理由を職場には伝えず辞めている。また、夫婦の2組に1組は、男女どちらかが不妊治療を受けている。それをカミングアウトせず職場を去る人がいるので、辞める理由の項目としては大きい。
委員	「子どもがほしいから」では、ぼやけるか。こちらの方がよいように思う。
委員	「不妊治療のため」だけには限定されない。治療はしていないが、もう一人子どもがほしいという理由で仕事を辞める人もいる。どこに視点を持っていくかだ。
ぎょうせい	できるだけ平易な表現の方が答えやすいと思います。「子どもがほしいから」はいろいろな意味を包含しますので、個人的にはこれがいいと思いました。「子どもがほしいから（妊娠を希望しているから）」でもわかりやすいと思います。
会長	ではそれで進めてください。
委員	問27の選択肢に「7 災害時に子どもや若い女性、高齢や障害のある女性に配慮する」とあるが「若い」を入れる必要があるのか。また高齢や障害のある女性だけにしぼる必要はあるか。「高齢や障害のある人」でよいと思う。
ぎょうせい	確かに若い女性に限定する必要はないかもしれません。これまでに、避難所で若い女性、高齢や障害のある女性に何か生じていなかったか、配慮が行き届いていたかを踏まえてのことですが、限定する必要はありません。「災害時に子どもや女性、高齢や障害のある人に配慮する」でよいかもしれません。
委員	「外国人」も加えてほしいと思う。
委員	問17の選択肢に「希望どおりの労働条件や仕事内容ではなかったから」は、「希望どおりの待遇や労働条件ではなかったから」だと思う。
委員	表紙のご協力のお願いの文章について、もっと練った方がよい。例えば「把握し」というのは、市民に対して上から目線にならないだろうか。「御意見をお伺いし」のような文章にしてはどうか。また「お忙しいところ」は公文書で使っていない。「ご多用のところ」などだと思う。
事務局	再度作成します。
委員	全体的に答えにくい、回答者が限定される質問が多いように思う。仕方ないと思うが、記入漏れが多く出るのではないか。全員に答えてもらいたい質問は「全員がお答えください」などと入れた方がよいようにも思う。または、「指定のない質問は全員がお答えください」といった文章を入れておいてもよいかもしれない。
ぎょうせい	検討いたします。
委員	問11について、かなり細かく職業を尋ねている。14種類に分けているが、それぞれ

	<p>れで分析する予定なのか。その必要性について疑問だ。</p>
ぎょうせい	<p>問 11 については、メインのクロス軸ではありませんが、働き方など職業別のクロス集計をしたいと思います。例えば自営業は1～6に分けていますが、1～3（経営主）と4～6（家族従事者）では働き方について差があるのかといったことをみることはできないかという意図があります。また、例えば自営業者と家族従業者で、問 22 の 11 番の選択肢（家族経営協定）に差があるのかもみてみたいです。</p>
委員	<p>問 24 新型コロナウイルス感染症の影響について、このアンケートに入れる必要があるのか。</p>
ぎょうせい	<p>問 24 については、メンタルヘルスや独りで過ごす時間との兼ね合い、収入や家計の支出の増減との兼ね合いを入れたいと思いました。男女共同参画の視点で現状を把握するという意図があります。</p>
委員	<p>先ほど問 27 について意見が出たが、質問文に「避難所での着替えや授乳場所の問題など、男女共同参画の視点が必要とされています」とあるので、選択肢 7 の高齢者、障がいのある人について男女を問わないものにする、ほかとの整合性や関連性が変わってくるのではないかと。「子どもや若い女性」とあるのは「着替えや授乳場所」という言葉があるからではないだろうか。「子どもと若い女性」というのは、「乳飲み子とお母さん」ということだと思う。また「高齢や障害のある女性」についても、女性限定にしないと、ほかの選択肢の女性を外さないといけない。女性を外すと、質問の趣旨が変わってくるのではないかと。男性を排除しているのではなく、質問に対する答えの選択肢としては、現在の形でよいと思う。あとは表現の問題だ。例えば若い女性を「小さな子どもを持つお母さん」といった表現するなども考えられる。</p>
委員	<p>東北大震災のとき女性の着替え場所に困ったという話を聞いた。また年齢に関係なく女性の居場所が避難所になかったという話をよく聞いたので、先ほどの意見となったのだが、確かに取組の強化についてなので「高齢や障害のある女性」はこれでよいと思う。「子どもや若い女性」については、「子どもや女性」でよいと思う。</p>
委員	<p>問 40 の選択肢に「17 高齢者や障害者への介護・介助を支援するサービスを充実する」とあるが、施設での介護・介助限定のように感じる。現在 90 歳を超えるひとり暮らしの高齢者もたくさんいて、介護を必要としていない場合もある。「高齢者の生活の自立」も加えてもらいたい。</p>
委員	<p>問 33 の用語の説明について伺いたい。「ジェンダー」の説明文に「社会的、文化的につくられた『男らしさ』『女らしさ』という性別に関する意識」とあるが「社会的、文化的につくられた性別」ではないか。男女共同参画プランの用語解説に合わせた方がよい。また、問 33 と問 36 では「セクシュアル・マイノリティ」、問 34 では「性的マイノリティ」となっているので、表記を合わせた方がよい。問 29 に「パタニティハラスメント（パタハラ）」を入れてもよいのではないかと。これから育児休業を男性にも取ってほしいと思うので。また、問 23（性別にかかる意識を問うもの）の設問の意図を教えてください。</p>
ぎょうせい	<p>問 23 について、①②③は前回の項目です。今回新たに加えたのは⑤⑥⑦です。⑦についてはほかの設問からの編入なので、正確には⑤⑥が追加されたことになりま</p>

	<p>す。⑤⑥の設問背景としては、DVなどを研究されている広島大学の北仲先生の発案で広島県内の自治体のアンケートにおいてこのような質問がされていたものを取り入れたものです。先生は「男性の方が論理的・女性の方が感情的」と考える人ほどDV加害者の経験がある・ないことを分析しています。</p>
委員	<p>中学生向けにも同じ質問があるが、わかりづらいように思う。</p>
ぎょうせい	<p>最初は⑤⑥ともわかりやすいように男性を主語としていましたが、先生の考え方からこのような形に戻しました。これを見て、引っかかる人がいると思います。</p>
委員	<p>確かに印象はよくなかった。</p>
会長	<p>次に中学生アンケートについて、御意見・御質問はありませんか。</p>
委員	<p>表紙の文章は「みなさん」「皆さん」が混在しているので、統一した表記がよいと思う。また記入にあたってのお願いに「黒の鉛筆又はボールペンで記入」とあるが、シャープペンを使っている子どもが多い。シャープペンだと薄いのであれば、何か対応した方がよい。</p>
ぎょうせい	<p>表紙の表記は統一します。記入する筆記具は、記入した内容がわかれば、黒でなくても構わないので削除します。ほかのアンケートも含め、この箇所も統一します。</p>
委員	<p>問2は通っている中学校について尋ねている。中学生の所属を明らかにするのは、何か意図があるのか。</p>
ぎょうせい	<p>前回も入っていた質問です。学校から「自校生徒の結果はどうか、集計してほしい」という依頼があり、学校名を入れたものです。</p>
委員	<p>自分が中学生なら記入しない。人権を思うなら、そういうところから考えてもらいたい。</p>
委員	<p>子どもたちは答えづらいだろう、そして先生が知るといことを知っているのかと思った。検討してもらいたい。</p>
ぎょうせい	<p>事務局と相談します。</p>
委員	<p>問5は中学生にはわかりにくいかもしれない。「②『男は男らしく、女は女らしく』という価値観や考え方」について。ここは考え方について尋ねているので「価値観」を削除した方が中学生には引っかからずにとっと入ってくると思う。</p>
ぎょうせい	<p>問5②についてはその通りだと思います。⑤⑥については、広島県では中学生に行い、きちんと答えられているので、大丈夫かと思いますが、外した方がよいということであれば、削除します。</p>
委員	<p>問12は家事の手伝いについて、中学生は家事に何時間も割けないと思うので、選択肢は「10分」「30分」など短いにした方がよいのでは。これだと「1時間未満」に集中すると思う。ヤングケアラーの問題があるかとは思いますが、時間設定を見直した方</p>

	が答えは出やすいように思う。
ぎょうせい	他地域で同様のアンケート調査を実施したときに、「5時間以上」が数パーセントいました。本当はいてはいけません、実態を把握できました。選択肢の変更は検討します。
委員	家庭の問題で「手伝い」ではなく、主に家事をやらなければいけない人もいるのではないか。
ぎょうせい	家事を主に担っている場合はヤングケアラーとなる可能性があります。今の段階では、手伝いという言葉があってもよいと個人的には思います。
会長	では、問 11 問 12 は「手伝い」でよいと思います。
委員	問 13 希望する進路について、中学生は、高校に進学するか、大学に進学するかどうしようという意識ではないか。理系か文系かまで問うのは子どもの意識とずれているように思う。問い方を再考してもらいたい。
ぎょうせい	問 13 は前回と同じ内容です。回答はきちんと取れたと記憶しています。「リケジョ」、理系に行く女子が少ないとよく報道されているので、あえて入れました。
委員	中学生で文系・理系が明確になっている子どもはよいが、まだ将来についてわからない子どももたくさんいる。漠然と4年制大学に行きたいと考えている場合もあるので、回答に迷うなと感じた。
ぎょうせい	前回の同じ質問では「高等学校まで」29%「専門学校・各種学校まで」22.7%「短期大学まで」10%「文系大学（4年制）まで」11%「理系大学（4年制）まで」14%という結果でした。男女別にみると「専門学校・各種学校まで」は男子 16.2%、女子 32.1%と男女差がありました。文系・理系については、どちらも男子が女子を大きく上回る結果となっています。特に理系は男子 16.7%、女子 10.5%です。前回このように答えてくれているので、今回も答えてもらえると想定しています。
委員	文系・理系がわからない場合は、二つに丸を付けてもよいのか。中学生と関わることが多いが、今の中学生は何がしたいかわからないという子どもも多い。高校生だときちんと答えられると思うが、中学生はどうなのか。
委員	はっきり進路がわかる子は書きやすいと思う。文系・理系にわけたいのであれば「4年制大学」の横に「文系・理系」を付けるやり方がよいと思う。
委員	答えられない設問は避けた方がよいと思う。また、専門学校も文系・理系がある。
委員	このアンケートは8月に実施するが、具体的に進路を考えるのは3年時だ。2年生は漠然とならよいが、詳しく聞く、というのは難しいかと思う。先ほどあったように、専門学校も文系・理系があるし、高等学校も定時制や通信制がある。
委員	中学生に、どういう職業に就くかを聞くのは酷かもしれない。現実として大卒者の理系・文系で賃金格差はある。理系の方が選べる仕事の幅が広い。子どもには「〇〇

	<p>になりたい」という前に、理系と文系はどうかという話をした方がよい。</p>
委員	<p>進路が定まらない子どもも結構いるので、もう少し大人が将来について教えてあげないと、子どももどうしていいかわからない。学校で行うか家庭で行うかは別として、大人が子どもの進路について教えたり、一緒に考えないといけない。設問への回答からだけでは、読み取れない部分がある。</p>
委員	<p>進路について、「親から『どこに行きなさい』と言われるか」という設問にして、選択肢はこのままというのも考えられると思う。</p>
委員	<p>意見を伺っていると、問8の選択肢に「進路」の選択肢が必要と思った。</p>
委員	<p>問15の④デートDVの説明に「一緒に暮らしていない恋人同士などの間で起こる・・・」とあるが、もう少し中学生にイメージしやすい、平易な「交際中のカップルの間で起こる・・・」などにはどうか。</p>
委員	<p>問17はまず、悩みを相談できる人がいるか・いないかを尋ねて、それから誰に相談するかを尋ねた方がよいと思う。まず「相談しますか」「する」「しない」というのもよい。いずれにせよ二段階にした方がよい。相談せず自分で解決する子どもと、相談する人がおらず解決できない子どもとでは違ってくるので、もう少し答えやすくしてもらいたい。</p>
委員	<p>「あなたが、困っているときに悩みを相談できる人はいますか。それは誰ですか。」の方が答えやすいと思う。</p>
委員	<p>問17の選択肢に、「ネットで知り合った人」というのがあってもよい時代だと思う。1年生は微妙だが、3年生はそれなりに利用していると思う。</p>
会長	<p>続いて事業所アンケートについて、御意見・御質問はありませんか。</p>
委員	<p>現時点では、これでいいと思う。</p> <p>これからは、新たな在宅ワークの概念が出てくると思う。ある大手企業が試験的に、在宅が主で出勤は出張という扱いを始めたというニュースを見た。就労環境は変わっていくだろう。将来どういうイメージを事業所が持っているのかというのは大事なポイントだと思う。就労場所が家庭になると、何時から何時まで働くという概念がなくなり、結果で査定されるという時代に大きく舵を切ろうとしている。今は女性の管理職が少ないと言われているが、より性別にとらわれない時代になる。最近「ジョブ型雇用」とよく言われるが、何かに特化した仕事になれば、男女は関係ない。在宅でこれだけの仕事をしますとなれば、1,000万2,000万を稼ぐ人が出てくる。新型コロナウイルス感染症を機に、就労環境が変わろうとしている。何年か後のアンケートでは、中身が大きく変わると思うが、そういう変わりつつある世の中について、事業所がどんな思いを持っているのかについての質問があっても面白いと思う。</p>
委員	<p>問20に外国人雇用についての選択肢はなくてもよいのか。</p> <p>男女共同参画プランには、外国人など多様な人々への理解を深めるというのがあると思う。「あなたの事業所では外国人雇用に前向きに取り組んでいるか」など、多様性に関連した選択肢があるとよいのではと思った。</p>

ぎょうせい	災害の設問にも関連すると思いますが、男女共同参画社会を実現するために、事業所として何が必要かということなので、外国人についてどのように表現するか検討したいと思います。
会長	続いて教職員アンケートについて、御意見・御質問はありませんか。
委員	問2の年齢について、市民、教職員、市職員の年齢区分が違う。揃えてもよいのではないか。同じ年齢区分にしていなくて、分析は大丈夫か。
ぎょうせい	大丈夫です。
委員	問7（男だから〇〇・女だから〇〇と言ったことはあるか）の選択肢に「12 泣いたとき」とあるが、どういう意味か。
委員	例えば「男の子だから泣いたらいけない」と言われたことはあるか、という意味だと思う。
ぎょうせい	問7は中学生への設問もあります。男子と女子で大きな差が出ます。
委員	アンケートを見ていると、いろいろと考えていけないと思った。考えるチャンスになると思う。
委員	問17の選択肢「12 男女平等やセクシュアルハラスメント、性等に関する相談窓口の設置」とはどういう意味か。
ぎょうせい	わかりにくいですね。表現を見直します。
委員	問17には、女性の管理職比率や教員の科目の男女の偏りについて入れてもよいと思った。また、問10に育児休業があるが、介護休業については。
ぎょうせい	介護休業も加えます。
委員	学校の組織の中で、管理職の女性の割合を増やす取組が必要だと思ったのだが、さぬき市の現状はどうか。
委員	さぬき市は、今年度女性の管理職が増えた。採用の一番少なかった時期の先生が管理職になるので、男女問わず管理職になる数が減るのが課題だ。最近では女性の割合が高い。
委員	市内中学校に女性の校長先生はいるのか。
委員	3校のうち1校が女性の校長先生だ。
会長	続いて市職員アンケートについて、御意見・御質問はありませんか。
委員	市職員は全員に配るのか。また、回収は部局長が行うのか。

事務局	職員のうち 100 名に配布し、封入して部局長に提出します。
委員	QRコード（Web 回答）よりも直接紙媒体での回収がよいのか。
事務局	現場もあるので、今回は紙で統一したいと思います。
委員	問 10 の出典が国のデータベースだが、さぬき市出典のデータでよいのではないか。
ぎょうせい	アンケート設計時に、さぬき市のデータが手元になかったので、このようにしています。データが入れば差し替えます。
委員	さぬき市の数値だけでは比較がわからないので、全国のデータがあった方が答えやすい。同様に、問 16 も「依然として少ない現状です」とあるので、少ない現状の数値を入れていた方が答えやすい。
委員	用語の意味に「パタニティハラスメント（パタハラ）」があるとよい。
ぎょうせい	市職員には用語の認知度についての設問がありません。用語の解説は 8 ページに入れています。
委員	市は 60 代以上の職員はいないのか。教職員は 50 代と 60 代以上で分けている。
事務局	60 代の再任用職員がいます。
委員	年齢について調査、分析に影響ないか。
ぎょうせい	市職員、教職員については、若い職員と年配職員に差はあるか、という分析はしますが、市民のように年齢別に細かくは分析しません。
会長	時間の都合上、本日の協議はここまでとさせていただきます。もしほかにも御意見等のある場合は、意見書を配布しておりますので、6 月 28 日（火）までに事務局あて送付ください。
会長	ここで一つお諮りします。スケジュール的に 7 月上中旬までにアンケートを完成させる必要があります。そこで、最終案を会長及び事務局に一任いただきたいのですが、いかがでしょうか。
委員	<異議なし>
会長	ありがとうございます。事務局は、皆さんの意見を参考に事務を進めてください。次に、議事（2）「その他」について、事務局から何かありますか。
事務局	<説明> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の調査スケジュールについて ・本年度の男女共同参画社会作品募集について ・その他

会長	事務局から説明がありました。何か質問などはありませんか。
委員	<質疑なし>
会長	次回の会議は、11月頃となる予定です。事務局より追って案内しますので、よろしく申し上げます。では、最後に山下市民部長にあいさつをお願いいたします。
市民部長	<山下市民部長あいさつ>
会長	<p>本日も活発な議論をありがとうございました。</p> <p>只今、1階市民ホールで男女共同週間パネル展を開催しています。まだ御覧にならない場合は、帰りにお立ち寄りいただけたらと思います。また、御都合のつく方は、6月25日の男女共同参画セミナーに御参加ください。以上で、令和4年度第2回さぬき市男女共同参画推進協議会を閉会します。お疲れ様でした。</p> <p style="text-align: center;">< 閉 会 > (1 6 : 4 0)</p>